

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



# 緑小だより 12月号

令和5年11月30日(木)

茅ヶ崎市立緑が浜小学校  
校長 菅野 康一

## 【日常生活から始まる問題解決】

運動会が終わり、ようやく涼しくなってきました。ここ数年は、夏から秋を飛ばして冬になってしまう感じで、季節感が感じにくくなっています。

保護者・地域の皆様につきましてはくれぐれもご自愛くださいませ。

さて、4月18日(火)に6年生が実施した「令和5年度 全国学力・学習状況踏査」の本校の結果(国語・算数)を分析いたしましたので、概要をご報告させていただきます。(6年生保護者の皆様には、秋休み前に結果をお知らせしております。)

の平均点とほぼ同程度(やや上回る)の結果となりました。

・個別の設問では、「伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める」問題や、「正方形の意味や性質について理解しているかを見る」問題の正答率が特に高かったです。

・一方、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」問題の正答率が特に低かったです。

### 1. 教科に関する調査

#### (1) 国語

・全説問に対する平均正答率は、全国の平均点とほぼ同程度(やや下回る)の結果となりました。

・個別の設問では、「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる」問題が特に正答率が高かったです。

・一方「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題が特に正答率が低かったです。

#### (2) 算数

・全説問に対する平均正答率は、全国

教科に関する調査から見てきたことで、本校が特筆される点として、

全国的に見ても「**無回答率**」が低いことが挙げられます。国語では、14問中3問・算数では16問中6問が、無回答率が0%と、最後まで諦めずに問題に取り組む力が、日頃の授業の中で養われている証拠です。そして今は答えを導き出すのにどのように考えるかという「**日常生活からはじまる問題解決能力**」が、問われています。「**自分の生活に関係がある**」と子どもが実感できるような学習環境を設定し、解決していくことで、学ぶことは役に立つという手応えを子どもに感じさせていけるよう、努めてまいります。